

第26回学都仙台コンソーシアム定期総会議事録（要旨）

1. 日時

平成31年2月22日（金）10時30分～11時34分

2. 場所

仙台国際ホテル 2F 平成の間（仙台市青葉区中央4丁目6番1号）

3. 出席者

28 会員機関（出席者の役職名・氏名は＜別紙＞資料参照）

石巻専修大学、尚絅学院大学、聖和学園短期大学、仙台白百合女子大学、仙台青葉学院短期大学、仙台大学、東北学院大学、東北芸術工科大学、東北工業大学、東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部、東北大学、東北福祉大学、東北文化学園大学、東北医科薬科大学、放送大学宮城学習センター、宮城学院女子大学、宮城教育大学、宮城誠真短期大学、宮城大学、仙台高等専門学校、公益財団法人仙台観光国際協会、仙台商工会議所、一般財団法人東北多文化アカデミー、一般社団法人みやぎ工業会、国立研究開発法人理化学研究所、仙台市（委任状） 宮城県

4. 定足数の確認等

会長校事務局より、本会規約により本総会は成立する旨の報告があった。また、代表者変更のあった機関のうち、前回定期総会に欠席された東北大学の矢野総長の紹介と挨拶があった。

5. 議長選出

規約第14条第5項に基づき、平川会長を議長に指名した。

6. 議事録署名人の選出

規約第17条第1項に基づき、仙台白百合女子大学の矢口学長、宮城大学の川上学長を議事録署名人に選出した。

7. 議事

第1号議案 学都仙台コンソーシアムへの入会について

仙台赤門短期大学の学都仙台コンソーシアムへの入会について、事務局から配付資料に基づき説明が行われ、審議の結果、平成31年度からの入会が承認された。

引き続き、仙台赤門短期大学の佐竹学長および藤原事務長の紹介と挨拶があった。

第2号議案 平成31年度事業計画（案）について

平成31年度事業計画（案）について、事務局及び各事業部会長から配付資料に基づき説明が行われ、審議の結果、原案のとおり承認された。

なお、川上運営委員長より、ウェブサイトリニューアル（スマートフォン対応版）に伴う負担金と復興大学部会の事業計画について補足説明があった。

第3号議案 平成31年度収支予算（案）及び特別会計収支予算（案）について

平成31年度収支予算（案）について、事務局から配付資料に基づき説明が行われ、審議の結果、原案のとおり承認された。引き続き、復興大学部会から配布資料に基づき特別会計収支予算（案）について説明が行われ、原案のとおり承認された。

なお、ウェブサイトリニューアルに伴う負担金について、平成30年度第3回運営委員会においてリニューアルに係る経費の一部を25機関で負担することが承認されたことに伴い、各機関が一律20,000円負担することを確認した。

第4号議案 平成31年度各事業部会長（案）について

平成31年度の各事業部会長について、事務局から配付資料に基づき説明が行われ、審議の結果、原案のとおり承認された。

8. 報告事項

（1）各事業部会の活動報告について

【単位互換事業部会】

徳永部会長から、配付資料に基づき、活動報告がなされた。

- ・今年度はポスター作成を見送り、様々な広報施策を実施した結果、受講者数は昨年度77人から今年度193人と2倍以上に増加した。
- ・このことから、来年度もポスターによる広報活動以外での履修者獲得を検討していくこととした。

【サテライトキャンパス事業部会】

岡部会長から、配付資料に基づき、活動報告がなされた。

- ・サテライトキャンパス公開講座は、講座仙台学(8講座)を含め60講座を開講し、昨年度の50講座より増加した。
- ・本年度の公開講座受講者数は2,242人であり、目標値(2,352人)に対して95%となり、目標値をほぼ達成した。

【広報事業部会】

藤王部会長から、配付資料に基づき、活動報告がなされた。

- ・ホームページの更新・充実について、ホームページのスマートフォン対応版制作の検討を行った。
- ・広報サポートスタッフ活動の支援、コンソーシアムリーフレットの作成、フリーペーパー(G. S. C)の発行、オープンキャンパスを利用した広報活動などについて報告があった。
- ・広報サポートスタッフの募集について、協力要請があった。

【企画事業部会】

千葉部会長から、配付資料に基づき、活動報告がなされた。

- ・「全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム」に参加し、ポスターセッション出展による本コン

ソーシアムのPRや情報交換を行った。

- ・各加盟機関に対し、所属する教職員が参加可能なFD・SD研修などの開催情報の提供依頼を行った。
- ・国際交流部会の設立について、今後の方向性について国際交流部会設立検討小委員会と協議し、現時点において部会の設置は困難であること、今後の東北多文化アカデミーとの連携について確認した。
- ・イオンモール雨宮の施設活用の検討について、検討小委員会を設置、イオン側と協議継続中との報告があった。
- ・内閣府「地方大学・地域産業創生事業交付金」申請に係る補助金に関する仙台市との協議について、コンソーシアムとしてこの事業に対応することは難しいと判断した。
- ・「学都仙台で学ぼう」キャンペーンに関する提案について、検討中との報告があった。
- ・3月25日に東北学院大学において開催されるFD研修会について案内があった。

【復興大学事業部会】

石川部会長から、配付資料に基づき、部会開催状況、補助金および4事業の活動報告がなされた。

- ・4事業（復興人材育成教育事業、教育復興支援事業、企業支援ワンストップサービス事業、災害ボランティアステーション事業）の活動について報告があった。
- ・3月14日に今年度のまとめとして、各事業の報告会を兼ねた公開シンポジウム(仙台国際ホテル)を予定。

(2) その他

- ①平川会長より、「3.11 震災伝承に関する提言書についての依頼」について、配布資料に基づき東北大学の今村先生からの依頼について説明があり、復興大学部会において対応することが承認された。

9. その他

(1) 退任される会員機関代表者の紹介

平川会長から、初めにみやぎ工業会の竹淵裕樹理事長が昨年6月に代表理事を交代されたことが報告された。続いて、平成30年度をもって退任される東北学院大学松本宣夫学長、東北生活文化大学山田宗慶学長の紹介と退任の挨拶があった。

以上